

海にして
太古の民のおどろ(き)を
われふたたびす
大空のもと

令和4年度 高村光太郎記念館 企画展

光太郎、 わた 海を航る

令和4年
7月16日(土)~9月30日(金)

高村光太郎記念館

「光雲還暦記念像」(明治44年)の前で
高村光太郎(28歳)



(高村道利宛葉書 1909年4月4日消印)

今伊^{イタリア}太利旅行中。
 今日羅^{ローマ}馬に來りたり。
 古羅馬の偉大なりしを
 想見して驚かざる
 を得ず。

四月四日

羅馬にて

高村光太郎

彫刻家で詩人としても知られる高村光太郎は、明治 39(1906)年から明治 42(1909)年にかけてアメリカ、イギリス、フランスに留学しました。現地の美術学校で彫刻やデッサンを学ぶ一方で、農商務省の海外実業練習生として欧米の様々な応用芸術を調査していました。

帰国後の光太郎は数々の芸術評論や詩歌を発表する一方で、旧態依然とした日本彫刻会との決別を決意します。

この企画展では、留学中に差し出された手紙や執筆した散文を中心に紹介し、渡航で乗船した貨客船など、当時の海外渡航事情に関連した資料を併せて展示します。

高村光太郎記念館

〒025-0037 岩手県花巻市太田3-85-1 ☎0198-28-3012
 開館 午前8時30分 閉館 午後4時30分 休館日 12月28日～1月3日

高村光太郎記念館 入館料

一般 350円／高校生・学生 250円／小・中学生 150円
 ※団体入場(20名以上)は上記から一人あたり50円割引

